

**平成27年度
飛島村教育委員会に関する
点検及び評価の報告書**

平成 28 年 9 月

飛島村教育委員会

— 目次 —

【教育委員会の点検・評価】

I	飛島村の教育指針	…	1
II	施策の基本方針		
1	学校教育・青少年健全育成	…	1
2	生涯学習・スポーツ・文化	…	2
3	国際社会	…	2
III	教育に関する事務の点検評価について	…	3
IV	教育委員会の取り組みについて		
1	教育委員会会議の開催状況	…	3
2	教育委員会会議の審議状況	…	3
3	教育委員会の活動状況について	…	6
V	主な事業の取り組み状況		
1	学校教育・青少年健全育成		
(1)	小中一貫教育の充実	…	8
(2)	地域と連携した学校教育の推進	…	12
(3)	小中学生の心身の健康作り	…	12
(4)	就学支援の充実	…	13
(5)	学習環境の充実	…	13
(6)	青少年健全育成の推進	…	14
2	生涯学習・スポーツ・文化		
(1)	生涯学習の推進	…	15
(2)	生涯スポーツの推進	…	17
(3)	地域固有の文化の伝承と保護	…	18
(4)	文化施設・体育施設の管理運営	…	18
(5)	社会教育・社会教育団体の活性化	…	21
(6)	図書貸出機能の強化	…	23
(7)	図書館利用者サービスの充実	…	24
3	国際社会		
(1)	国際交流の推進	…	25

【有識者による事務事業点検の評価】

「飛島村教育委員会に関する点検と評価」意見聴取会のまとめ	…	26
------------------------------	---	----

I 飛島村の教育指針

～郷土に誇りをもち、確かな未来を拓く教育～

本村は、第4次飛島村総合計画の将来像である「小さくてもキラリと光る村 とびしま」の実現を図るために、住民一人ひとりが周囲を思いやる「心」、地域に内在する「活力」、郷土に対する「誇り」を織り込み、「飛島らしさ」を萌芽させ、醸成していくことが大切であると考えている。

また、「村民憲章」を行動指針として、自分たちが住む村を大切にし、住みやすい村にするために共に考え、話し合い、実行していく人づくりが肝要である。

そこで、本村の教育指針を「郷土に誇りをもち、確かな未来を拓く教育」とする。

II 施策の基本指針

平成25年3月に策定した第4次飛島村総合計画に基づき、次の教育施策を推進する。

1 学校教育・青少年健全育成

全国的にも数少ない施設一体型小中一貫教育校の特長を最大限活用するとともに、地域住民や企業の協力を得ながら、「確かな学力の定着」、「豊かな心の醸成」、「かかわる力の育成」、「未来を切り拓く力の育成」、「健やかな体づくり」を培い、将来の飛島村の担い手となる人づくりを進める。

(1) 小中一貫教育の充実

先進的な小中一貫教育校として、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育みながら、「確かな未来を拓く」人づくりを進める。

(2) 地域と連携した学校教育の推進

地域住民や臨海部の企業など様々な大人とふれあう機会を増やし、子どもたちに広い視野を身につけさせる。

(3) 小中学生の心身の健康づくり

情操教育、野外活動及び特別支援教育等を充実させるとともに、いじめ防止・不登校対策を適確に実施することで、子どもたちの心身の健全な育成を目指す。

(4) 就学支援の充実

就学支援の拡充により、全ての子どもたちが平等に教育機会を享受できるむらづくりを目指す。

(5) 学習環境の充実

小中一貫教育校の施設維持管理及び施設整備を適正に実施することで、安全かつ快適な学習活動を実現する。

(6) 青少年健全育成の推進

青少年教育に関する啓発事業や平和意識の高揚を図ることにより、将来の飛島村を担う心豊かな青少年を育成する。

2 生涯学習・スポーツ・文化

住民の文化活動やスポーツ活動を支える社会教育団体の自立した運営・経営を促すとともに、生きがいや豊かなこころを育む活動の充実を図る。また、図書館において、貸出サービスの充実はもとより、住民の課題解決など時代に求められる機能の高度化を図る。

(1) 生涯学習の推進

様々な人材育成・生涯学習活動を通じて、住民の生きがいと豊かな心を育む。

(2) 生涯スポーツの推進

スポーツ活動を行える多様な機会をつくることで、多くの人が生涯を通じてスポーツに親しみ、地域住民が互いに交流できる環境づくりを目指す。

(3) 地域固有の文化の伝承と保護

文化財・郷土資料を適切に維持管理するとともに、伝統芸能の担い手育成と保存会の存続を目指しつつ、飛島村の昔ながらの生活を伝承していくことで住民の郷土愛を醸成する。

(4) 文化施設・体育施設の管理運営

中央公民館・総合体育館・運動広場等の施設の安全性を確保し、適切な管理運営を行うことで、施設の利用環境の向上を目指す。

(5) 社会教育・社会体育団体の活性化

社会教育・社会体育の振興を図るために活動団体に助成することで、運営面や資金面で自立した運営を目指す。

(6) 図書貸出機能の強化

住民のニーズに合わせた蔵書の充実や貸出方法の改善により、住民の読書を推進する。

(7) 図書館利用者サービスの充実

レファレンスサービスの充実や情報発信、子どもたちが本に親しむ機会づくり等により、住民の課題解決能力や豊かな心を育む、地域に貢献し親しまれる図書館を目指す。

3 国際社会

国際的視野を持ち、グローバルな視点から郷土を考えられる人材を育む。

(1) 国際交流の推進

多文化への理解を深めることにより、国際的視野を持ち、グローバルな視点から郷土を考えられる人づくりを進める。

飛島村民憲章

村民憲章は、村民の皆さんが相互に信頼関係を培っていくための「共通の心構え、合言葉」です。

本村では、村民憲章を推進することによって、

村民相互がかたく信頼関係で結ばれる村づくりを目指します。

- 一 心とことばの通いあう、楽しい家庭をつくりましょう。
- 一 祖先をしのび、感謝の気持ちで働きましょう。
- 一 進んできまりを守り、明るい社会づくりに励みましょう。
- 一 ものを大切にし、思いやりの心で毎日をすごしましょう。
- 一 心身をきたえ、豊かで活気のある村をつくりましょう。

(昭和 58 年 3 月制定)

Ⅲ 教育に関する事務の点検評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、平成 20 年 4 月から全ての教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、外部の学識経験者の知見を活用して点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会へ提出するとともに公表しなければならないこととなった。

そこで、村教育委員会では、法の趣旨に則り効果的な教育行政の推進に資するとともに、村民への説明責任を果たすため、「教育委員会の点検・評価」を実施し報告書にまとめた。

Ⅳ 教育委員会の取り組みについて

1 教育委員会会議の開催状況

平成 27 年度は毎月の定例会議 12 回と臨時会議を 1 回開催した。

回	日付	会議名	回	日付	会議名
1	4/27 (月)	教育委員会 (4 月定例)	8	10/27 (火)	教育委員会 (10 月定例)
2	5/27 (水)	教育委員会 (5 月定例)	9	11/30 (月)	教育委員会 (11 月定例)
3	6/26 (金)	教育委員会 (6 月定例)	10	12/24 (木)	教育委員会 (12 月定例)
4	7/27 (月)	教育委員会 (7 月定例)	11	1/27 (水)	教育委員会 (1 月定例)
5	8/27 (木)	教育委員会 (8 月定例)	12	2/29 (月)	教育委員会 (2 月定例)
6	9/30 (水)	教育委員会 (9 月定例)	13	3/30 (水)	教育委員会 (3 月定例)
7	10/1 (木)	教育委員会 (臨時)			

学期末の教育委員会開催後、教育懇談会 (7/27・12/24・2/29) を行い、小・中学校長から学校の様子や取り組み内容・課題等について報告を受けた。

2 教育委員会会議の審議状況

年間 12 回の定例会及び 1 回の臨時会では、「要保護及び準要保護児童生徒の認定について」、「飛島村図書館協議会の委員の任命について」など 15 件の議案が協議された。

さらに、29 件の後援依頼が発議され、「飛島村教育委員会における後援等の基準及び手続きに関する要綱」の審査基準に従い十分検討した結果、すべての後援が決定された。

会議	審議状況
4 月定例	【議案】 なし 【協議】 飛島村総合教育会議について 【報告】 5 月の学校行事について 27 年度温水プール・ふれあい温泉招待券の配布について 文化協会第 16 回春の祭典について
5 月定例	【議案】 第 15 号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について 第 16 号 飛島村図書館協議会の委員の任命について 【協議】 海部地方教育事務協議会規約の一部変更に関する協議について 【報告】 6 月の学校行事予定について 後援承認について 5 件 第 6 回リオビスタ市姉妹都市交流団来村について ふれ合おうデー ～NO TV・NO Game～について 海外派遣中学生の審査結果について

6月 定例	<p>【議案】 第 17 号 飛島村社会教育委員の委嘱について 第 18 号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について</p> <p>【協議】 総合社会教育センター等の臨時休館について</p> <p>【報告】 7月の学校行事予定について 後援承認について 4件 飛島学園施設改修工事の概要について 飛島学園パソコン・サーバー等更新の概要について 平成 27 年度平和推進事業について リオビスタ市姉妹都市交流団来村について 男子更衣室のコインロッカーの入替 (19 台) について</p>
7月 定例	<p>【議案】 第 19 号 教科用図書の採択について</p> <p>【協議】 なし</p> <p>【報告】 夏季休業期間中の学校行事予定について 後援承認について 2件 平成 26 年度教育委員会に関する点検と評価の報告書について 義務教育学校について 飛島学園 I C T 教育推進計画について 平成 27 年度愛知県ボランティア活動表彰受賞について 第 1 回飛島村総合教育会議について 不審者情報について 海外派遣事業について</p>
8月 定例	<p>【議案】 なし</p> <p>【協議】 総合社会教育センター等の臨時休館について</p> <p>【報告】 9月の学校行事予定について 後援承認について 3件 飛島村通学路安全推進会議について 教育委員会事務局職員の異動等について 不審者情報について 平和推進事業について 夏祭りについて 海外派遣事業について ふるさとフェスタ芸術鑑賞会について 温水プール水入替のための休館について</p>
9月 定例	<p>【議案】 なし</p> <p>【協議】 なし</p> <p>【報告】 10月の学校行事予定について 後援承認について 4件 飛島村教育支援委員の委嘱について 不審者情報について 村民体育祭について 2015 飛島ふるさとフェスタについて</p>
10月 臨時	<p>【議案】 第 20 号 飛島村教育委員会委員長の選挙について 第 21 号 飛島村教育委員会委員長職務代理者の指定について</p> <p>【協議】 なし</p> <p>【報告】 なし</p>

10月 定例	<p>【議案】 第22号 飛島村文化財保護審議会委員の委嘱について</p> <p>【協議】 飛島村教育支援委員会に関する新入学者名簿について</p> <p>【報告】 11月の学校行事予定について 後援承認について 1件 不審者情報について 愛知万博メリアル第10回愛知県市町村対抗駅伝競走大会について</p>
11月 定例	<p>【議案】 なし</p> <p>【協議】 なし</p> <p>【報告】 12月の学校行事予定について 後援承認について 1件 全国学力・学習状況調査結果について 第2回総合教育会議について 平成28年飛島村成人式について ホストファミリーの募集について</p>
12月 定例	<p>【議案】 第23号 平成28年度新入学児童生徒の就学について</p> <p>【協議】 8月の図書館休館日について 人事面談について</p> <p>【報告】 冬休み及び1月の学校行事予定について 第10回愛知県市町村対抗駅伝競走大会結果について</p>
1月 定例	<p>【議案】 第1号 飛島村立学校管理規則の一部改正について</p> <p>【協議】 飛島村いじめ対策連絡協議会等条例について</p> <p>【報告】 2月の学校行事予定について 後援承認について 1件 飛島村立小中学校事務共同実施要綱について 飛島村特別支援教育就学奨励費支給要綱について 平成28年 年輪の集いについて 総合型地域スポーツクラブとびしまクラブ会員募集について 平成28年度の図書館、温水プールカレンダーについて</p>
2月 定例	<p>【議案】 第2号 平成28年度小・中学校教職員の異動について 第3号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について 第4号 飛島村立の学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の 公務災害補償に関する条例施行規則の一部改正について</p> <p>【協議】 飛島村立公民館条例等の一部改正について</p> <p>【報告】 3月の学校行事予定について 後援承認について 5件 総合教育会議について</p>
3月 定例	<p>【議案】 第5号 教育委員会事務局職員の任免について 第6号 平成28年度使用教材の承認について</p> <p>【協議】 なし</p> <p>【報告】 4月の学校行事予定について 後援承認について 3件 教育委員会教育課関係事業補助金交付要綱の一部改正について 飛島村就学援助事務取扱要綱の一部改正について 飛島村一貫教育及び教育特区研究会設置要綱の一部改正について 施設整備計画 事後評価シートについて</p>

	<p>気軽に楽しむクラシック名曲コンサートについて</p> <p>チャレンジデーについて</p> <p>平成 28 年度温水プール・ふれあい温泉招待券について</p>
--	---

3 教育委員会の活動状況について

教育委員は、教育委員会議への出席の他、学校訪問、村内で開催される各種行事や村外での会議等について参加した。

また、近隣市町の教育委員会との情報交換や相互の交流を図るため、海部南部教育委員会研修協議会を組織し、年 2 回の研修会に参加した。

月	教育委員会行事等・大会（村内）	その他
4	<ul style="list-style-type: none"> ・辞令交付式 ・飛島学園入学式 ・村小・中校長会 ・海外派遣事業本部会、推進委員会 ・スポーツ推進委員辞令交付式 ・海外派遣事業(中学生) 応募説明会 ・教育委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・飛島村交通安全推進協議会 ・海部地方教育事務協議会 ・市町村教育長・委員代表会議 ・県町村教育長協議会研修会
5	<ul style="list-style-type: none"> ・海外派遣事業(中学生)応募審査会 ・村小・中校長会 ・文化協会「春の祭典」 ・教育委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科用図書採択海部地区協議会 ・県町村教育長会総会・研修会 ・全国町村教育長会定期総会 ・清洲貝殻山貝塚資料館拡充整備基本構想検討会議
6	<ul style="list-style-type: none"> ・夏まつり打合せ会 ・村民体育祭実行委員会 ・海外派遣事業参加者説明会、事前研修開講式 ・リオビスタ市姉妹都市交流団来村 ・村小・中校長会 ・教育委員会に関する点検及び評価報告書の意見聴取会 ・教育委員会 ・図書館協議会 ・社会教育委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・海部地方教育事務協議会 ・市町村教育長・委員代表会議
7	<ul style="list-style-type: none"> ・明るい青少年を育てる活動推進会議 ・村小・中校長会 ・村民体育祭競技検討会 ・夏まつり実行委員会 ・ふるさとフェスタ実行委員会 ・教育懇談会 ・教育委員会 ・総合教育会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科用図書採択海部地区協議会 ・県市町村教育委員会連合会総会 ・清洲貝殻山貝塚資料館拡充整備基本構想検討会議 ・海部南部教育委員会研修協議会 ・海翔高校連絡協議会
8	<ul style="list-style-type: none"> ・平和推進事業 ・村小・中校長会 ・夏まつりおどり練習会 ・飛島村夏まつり ・海外派遣（中学生）事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・県市町村教育委員会連合会理事会 ・清洲貝殻山貝塚資料館拡充整備基本構想検討会議

	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会 	
9	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路安全推進会議 ・村民体育祭競技検討会 ・村小・中校長会 ・村民体育祭実行委員会、代表者会 ・飛島学園文化祭、体育祭 ・教育委員会 	
10	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時教育委員会 ・村民体育祭 ・村小・中校長会 ・就学時健診、家庭教育講座 ・ふるさとフェスタ実行委員会 ・教育委員会 ・2015 飛島ふるさとフェスタ 	<ul style="list-style-type: none"> ・海部地方教育事務協議会 ・市町村教育長・委員代表会議 ・小中一貫教育全国コミット in 三条
11	<ul style="list-style-type: none"> ・2015 飛島ふるさとフェスタ ・学校訪問 ・海外派遣平和推進事業報告会（中学生） ・村小・中校長会 ・教育支援委員会 ・飛島村年輪のつどい打ち合わせ ・社会教育委員会 ・教育委員会 ・図書館協議会 ・総合教育会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・海部南部教育委員会研修協議会 視察研修 ・海部地方教育事務協議会 ・市町村教育長・委員代表会議
12	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとフェスタ実行委員会運営委員 会合同会議 ・海外派遣事業推進委員会 ・村小・中校長会 ・教育委員会 ・教育懇談会 	<ul style="list-style-type: none"> ・県市町村対抗駅伝競走大会 ・人事面談（第1次）
1	<ul style="list-style-type: none"> ・村小・中校長会 ・飛島村成人式 ・教育委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団観閲式 ・海部地方教育長会 ・小中一貫教育全国コミット in なら
2	<ul style="list-style-type: none"> ・村小・中校長会 ・飛島村年輪のつどい ・教育委員会 ・教育懇談会 ・総合教育会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・人事面談（第2次） ・市町村教育委員会教育長研修会 ・県町村教育長研修会 ・市町村教育長・委員代表会議
3	<ul style="list-style-type: none"> ・飛島学園卒業証書授与式 ・村小・中校長会 ・年輪のつどい実行委員会 ・飛島学園飛島小学校卒業式 ・文化財保護審議会 ・体育協会総会 ・文化協会総会 ・教育委員会 ・退職辞令交付式 	<ul style="list-style-type: none"> ・海部地方教育事務協議会 ・市町村教育長・委員代表会議

V 主な事業の取り組み状況

1 学校教育・青少年健全育成

(1) 小中一貫教育の充実

① 外国人英語指導（ALT）委託

<平成27年度実績>

○教育課程特例校制度を生かした、英語教育の推進

・ALT（外国語指導助手）の派遣

小学校 週3日間勤務（延べ21時間）×45週

中学校 週5日間勤務（延べ35時間）×45週

ALTを学園に常駐派遣することで、授業や生活の場で外国人と話す機会が多くなり、英会話の実践的なコミュニケーション能力が高まった。

・文部科学省に教育課程特例校の申請をし、1・2年生では隔週1時間、3～6年生では毎週1時間の英語科の授業を行っている。

○児童英検・英語能力判定テストの実施

・児童英検（5・6年生対象）2月9日実施

英語学習の入門期にもっとも大切と考えられているリスニング形式で、解答は、英語を聞いてそれに合ったイラストなどに○をつける簡単なもの。

全国規模で実施されるので、成績データは客観性の高いものになっている。

※ 平均正答率：BRONZE（5年生が受検）全国平均85% 飛島小学校87%
SILVER（6年生が受検） 84% 83%

・英語能力判定テスト（8年生対象）2月14日実施

自らの英語能力を的確に把握できるだけでなく、①語い・熟語・文法②英文構成③読解④リスニングの4分野で出題され、分野別英語力を具体的に知ることができる。実用英語技能検定（英検）で蓄積された受験者能力データに基づき、自分が英検の何級を受けたらよいかという目安を把握することができるテスト。

※ 英語能力判定テスト結果（30名受験）

準2級レベルの力がある 3名

3級レベルの力がある 11名

4級レベルの力がある 16名

<点検及び評価>

○1～4年生では、担任教師、ALTの2名、5・6年生では、担任教師、ALT、JETの3名、7～9年生では英語科教師、ALTの2名が、役割分担を適切に行いながら、分かりやすく、興味・関心をもたせる授業を行うことができた。

○中学2年生ではALTによるホームステイランゲージ学習を行った。

○中学2年生に実施された英語能力判定テストでは、半数近くの生徒が3級レベル以上の力があるという結果となり、能力的にもすぐれた面が見られる。

② 通学路交通安全指導委託等

<平成27年度実績>

○シルバー人材センターに委託し交通指導員を配置し、生徒の登下校時の交通安全指導を行う。

登校時 村内7箇所（県道交番前、渚交差点、役場南西交差点、竹之郷農免交差点、竹之郷三丁目交差点、松之郷村道交差点、元松神社東交差点）

1時間×201日×7人
下校時 村内1箇所（県道交番前）
1～3時間×199日×1人

<点検及び評価>

○生徒の交通安全に資するだけでなく、生徒自身の安全意識の向上がはかれた。

③ ICT支援委託

<平成27年度実績>

○ICT教育支援員を派遣し、以下の内容で活用支援を行った。

31日×8時間 1名

支援内容 普通教室においてタブレット型PC等ICT機器の活用支援
教材作成
職員室において校務用PCの活用支援
教職員向けICT機器活用研修

<点検及び評価>

○ICT機器を活用する教科担任の授業にICT教育支援員が入り活用支援を行ったため、教科担任が自信を持って授業を進めることができた。

○既存のICT機器や電子黒板・デジタル教科書等新導入機器の活用支援もあわせておこなったため、全体の活用回数が増えた。

④ 小中一貫教育検証等

<平成27年度実績>

○小中一貫教育についての理解

小中学校の教職員が、小中一貫教育校として関係行事・生活指導面での調整、見直しを図るための会議を行った。

平成27年度学校教育法が改正され小中一貫教育を実施する義務教育学校の制度が創設されるとともに、小中一貫教育を推進する政省令が整備された。本学園もどのように対応するか検討を行った。

○小中一貫サミット in 三条参加

日時 平成27年10月22日（木）・23日（金）

研究主題 みんなで創る小中一貫教育 ～三条市の挑戦～

日程 ・全体会 ・授業公開 ・分科会

○小中一貫サミット in なら参加

日時 平成28年1月29日（金）・30日（土）

研究主題 未来を切り拓きたくましく生きぬく力を育む小中一貫教育

日程 ・全体会 ・授業公開 ・分科会

○小中学校の交流活動を進めた。（1年・9年すまいる交流会、2年・8年ハニー交流会）

○小中学校の縦割り活動を推進した。（小中ふれあい交流会・小中学校体育祭など）

○小学校での学習を生かした中学校での英語学習の研究を進めた。

<点検及び評価>

- 施設一体型小中一貫教育の特徴を生かし、小中学校職員の乗り入れ授業の拡大について、小中学校の職員が研究を進めた。
- 1・9年のすまいる交流会、2・8年のハニー交流会などで小中学校の交流活動を進め、小中ふれあい交流会・小中学校体育祭などで縦割り活動を推進した。その結果、初等部の生徒は高等部の生徒に尊敬や感謝の念を抱いたり、高等部の生徒が、小さい子を世話したりすることにより、お互いを思いやる豊かな心が育っている。
- 小中一貫サミット三条に参加し、市全体で小中一貫教育を進めている全国の先進的な取り組みについて研修することができた。小中学校職員の協働や9年間の学びの連続性については、本校の課題でもあり、今後もさらに重点として捉え、研修を進めたい。
- 次年度も、数多くの先進地域を視察して、よりよい教育を進めるとともに、新たに告示される新学習指導要領を先取りした教育活動の推進が必要である。

⑤ 水泳授業講師派遣

<平成27年度実績>

- 小学生の泳力向上を図るため専門講師の指導を受ける。
10時間×6学年 各時間講師2名
各時間2名の講師と2～3人の教員で、生徒を初級・中級・上級の三コースに分けて指導する。

<点検及び評価>

- 小学生の8割以上が水泳指導が好きである。
- 高学年の役8割の生徒が25m以上泳ぐことができる。

⑥ 学校給食事業

<平成27年度実績>

- 学校給食の調理を業者に委託する。(平成22年～)
調理員毎日10名を配置
調理実施日 190日、食数 81,372食(平均1日あたり428食)

<点検及び評価>

- カフェテリア方式にあった短時間で配膳を行うことができた。
- 生徒に安心して安全な給食を提供することができた。

⑦ 非常勤講師雇用事業

<平成27年度実績>

○非常勤講師配置

《小学校》

1週 9時間×35週	315時間(年間)	1名
1週 17時間×35週	595時間(年間)	1名
1週 20時間×35週	700時間(年間)	1名
1週 25時間×35週	875時間(年間)	1名

・業務内容

個に応じたきめ細かい学習指導を行うため、特別支援学級補助、算数の TT 及び少人数指導授業、社会・理科・図工・書写・音楽の授業に携わった。

《中学校》

1 週	8 時間×35 週	280 時間 (年間)	1 名
1 週	9 時間×35 週	315 時間 (年間)	1 名
1 週	18 時間×35 週	630 時間 (年間)	1 名
1 週	27 時間×35 週	945 時間 (年間)	1 名
1 週	28 時間×35 週	980 時間 (年間)	1 名

・業務内容

国語、国語・数学の TT、保健体育、音楽、家庭科、技術、特別支援学級の補助に携わった。

○授業スキルアップ支援員

1 週	25.4 時間×35 週	892 時間 (年間)	1 名
1 週	16.8 時間×35 週	591 時間 (年間)	1 名

・業務内容

若手教員の授業を参観し、指導・支援を行った。

○図書館司書

年間	1380 時間雇用	1 名
年間	1260 時間雇用	1 名

・業務内容

飛島学園において、校内メディアセンター蔵書整理と、児童生徒の実態に合った学校図書の計画的購入を行った。調べ学習時における、参考図書のレファレンスサービスを行った。

<点検及び評価>

- 村雇用非常勤講師を活用することにより、1～4年生で算数の TT 授業を導入し、5・6年生では算数の授業で少人数指導を実施した。また、5・6年生では一部教科担任制（国語・図工・理科・家庭科・音楽・体育など）を取り入れた。中学校においては、英語・数学・国語の3教科の授業を TT 授業で行うなど、基礎学力の充実に寄与している。
- 授業スキルアップ支援員が、初任者や少経験者の授業を参観し、アドバイスをしたり、学習プリントの効果的な使用法などを教えたりして、教員の力量アップにつながっている。
- 飛島学園のメディアセンターの運営を図書館司書が中心になって行い、子どもたちの読書や調べ学習に対する意欲が高まっている。

(2) 地域と連携した学校教育の推進

① 総合学習講師派遣

<平成27年度実績>

○中学校「職場体験」

職場体験活動を行うとともに、職業人の生の声を聞くことにより、考えを深めさせる。洋菓子店の店長に来校していただき、職業についての講話を聞いた。

○小学校「菊づくり体験」

飛島村の花である、「菊」づくりで活躍している、菊づくりの達人の話や生き方を通して、「地域の伝統、文化の継承」や「生きること」について考えさせる。自分たちで苗から育て、成長する喜びと、咲いた花に愛着をもち、植物を育てる苦勞と、できたときの喜びを感じさせることで、飛島村の「菊」に関心を深めさせた。

<点検及び評価>

- 「働くこと」と「学ぶこと」が、生徒の感覚の中で結びつくようになってきた。自分らしい生き方の実現に向け、今すべきことを考えて実践しようとする意欲が高まってきている。

(3) 小中学生の心身の健康づくり

① スクールカウンセラーの配置

<平成27年度実績>

年間 96時間雇用 1名 年間130時間雇用 1名

年間210時間雇用 1名

・業務内容

保護者や生徒の相談活動を行った。専門的な知識を生かし、担任教師などと連携を図った。中学生は年2回、全員の生徒がスクールカウンセラーとの個別面談を行った。

<点検及び評価>

- 毎日、スクールカウンセラーを配置することにより、保護者や生徒が相談したいときに迅速に相談できるという体制がとれている。専門的な知識を生かし、子どもの実態に合わせたアドバイスを受け、指導に生かしている。

② Q-Uアンケート

<平成27年度実績>

○年2回のQ-Uアンケート

生徒一人一人データから、不登校になる可能性の高い子ども、いじめを受けている可能性の高い子ども、学校生活の意欲が低下している子どもなどを発見し、早期対応するために行った。結果をもとに、教師はこれまでの指導を見直し、問題解決に向けて学級経営や授業を工夫することができた。

○アンケート結果分析講習会

資料の有効活用のため、名城大学講師 杉村秀充先生を招いで小中合わせた現職教育を行い、資料の見方を教えていただいたのち、各クラスの状態や、個別の生徒の心の状態や対策について教えていただいた。

<点検及び評価>

- どの学級も新規の不登校はなく、深刻ないじめも起きていない。アンケート実施のみならず、専門的な解説を聞くことで、担任は、より有効にデータを活用することができる。生徒一人一人への対応や学級経営に効果的である。

③ いじめ問題対策

<平成27年度実績>

- いじめ問題対策連絡協議会、飛島村いじめ問題専門委員会及び飛島村いじめ問題調査委員会を設置するための条例を公布した。
- 飛島学園内においていじめ・不登校対策協議会を2回開催した。

<点検及び評価>

- いじめ防止対策推進法によるいじめの防止等のための対策を推進する基盤整備ができた。
- いじめ・不登校対策協議会の開催により学校、教育課で情報共有ができた。

(4) 就学支援の充実

① 教育支援事業

<平成27年度実績>

- 経済的な理由により就学が困難な家庭に学用品等購入費、給食費等の援助を行った。
小学校 9名、中学校 9名
- 特別支援教育就学奨励費を支給するため要綱を制定し、次年度に向けて必要な予算要望を行った。

<点検及び評価>

- 各学期末に就学援助の支給を行い就学支援の一助となった。
- 特別支援教育就学奨励のための基盤整備ができた。

(5) 学習環境の充実

① 施設管理維持管理事業

<平成27年度実績>

- 体育用具遊具点検 1回、浄化槽保守 26回
- 消防設備保守 2回、電気保安保守 6回
- 総合環境衛生(清掃) 年間、学校警備 年間
- 体育祭会場設営 1回、除草作業 3回
- エコキュート保守 2回、グラウンド整備 2回
- 施設改修工事
 - ・ふれあいホール吊り天井改修、アリーナ吊り天井撤去工事
 - ・特別支援教室増築工事 ・エレベータ既存不適格改修工事

<点検及び評価>

- 専門知識を持った業者により施設保守等を実施した。
- 継続して委託することにより施設の長寿命化を図り、不具合・故障のあった箇所は早期に修繕を実施することができる。

(6) 青少年健全育成の推進

① 明るい青少年健全育成事業

<平成27年度実績>

○村の子どもたちの健全育成を図るため、小さな村の利点を生かし、地域ぐるみで家庭や地域の教育力を高め、絆を深める活動を推進した。

- ・ 広報、啓発活動……標語・ポスター作品の募集し、優秀作品の掲示、看板の設置、ふるさとフェスタにて啓発資材として花の苗の配布など
- ・ 学習活動……小中学校家庭教育学級の開催など
- ・ ふれあい活動……親子ふれあい教室（ガーデニング、木工、社会見学、バルーンアート、避難所体験、食品サンプル）、親子映画鑑賞会（年2回開催）、村民体育祭（親子ふれあい競技）への参加など
- ・ ボランティア活動……とびしま・ペアレンツ（おやじの会）活動
（平成28年3月末現在74名の登録 ※平成22年7月設置）
- ・ 「すこやか子育てセミナー」の実施
「小さな村のキラリと光る親子音楽会」をクリスマスの時期に合わせて実施した。

<点検及び評価>

- 地域を知り、地域とのつながりを深めるため、親子ふれあい教室では、地域の団体や企業との連携をした教室を開催した。参加者からは高い評価を得ることができた。
- とびしま・ペアレンツは、昨年度の課題を踏まえ、会員外の方も対象にした親子星空教室を開催したり、学園の周りの草取りをする「クリーンアップ大作戦」をしたりし、情宣活動に努めた。
- 村内で活動する子育てネットワーカーで企画・運営した事業を開催した。

② 平和推進事業

<平成27年度実績>

○中学生の代表を原爆被害地である広島市へ派遣することで、平和の尊さを学習・実感させ、またその体験を発表することで飛島学園生徒の平和意識の向上を図った。8月には原爆写真等のパネル展示をし「平和推進の村」宣言に基づき、村民に広く平和の尊さの理解を求めた。

- ・ 中学生の代表者については、飛島学園9年生を対象に参加者を募集し、選考委員会において派遣者を決定した。

団員：6名、引率者2名

派遣先：広島市平和記念公園（平和記念式典、献花献水慰霊式に参加）
ほか

期間：8月5日(水)～6日(木) 2日間 ※報告書：200冊作成

<点検及び評価>

○被爆体験者からの話を聞き、悲惨な「戦争」というものを風化させず、再び戦争を繰り返さないよう努力しなければならないことなど、「ヒロシマ」を訪れた参加生徒にとって、これからの進み方や生き方を考える貴重な体験となった。また、広島派遣報告会を通して、「ヒロシマ」の願いを学園生徒及び保護者へ広く伝えることができた。

2 生涯学習・スポーツ・文化

(1) 生涯学習の推進

① 生涯学習推進事業

<平成27年度実績>

○村内23地区から推薦された生涯学習（スポーツ）推進員が、「学習部会」「スポーツ部会」「広報部会」に分かれて、視察研修の企画・運営や生涯学習情報誌「ほうれんそう」の編集・発行等を行った。また、村民体育祭やふるさとフェスタでのイベント開催などを通して、生涯学習に対する意識の向上を図った。

・キラリとびしまのびのび体操の作成に関わり、村民への普及を図った。

○様々な活動を通して、推進員自らの見識を広めることができた。また、広く村民とふれあう活動を開催することで、村民の生涯学習の一役を担うことができた。

・生涯学習推進員（村内23地区に各1名委嘱）……任期2年

・生涯学習情報誌「ほうれんそう」

年2回発行（10月号：8頁、3月号：10頁/各2,000部印刷）村内全戸・企業に配布（広報とびしまに差込）

・トヨタ産業技術記念館にて「日本のモノづくり」の文化の研修を行った。

○スポーツ推進委員会

・委員数 8名

・活動内容

定例会開催 6回

わんぱくスポーツランド 10回実施 延参加者 240名（小学生）

キラリとびしまのびのび体操作成及び普及活動 13回

その他研修会等

全国スポーツ推進委員研究会 1名

東海四県スポーツ推進委員研究会 4名

西尾張スポーツ推進委員研修会 2名

海部地区スポーツ推進委員研修会 7名

海部南部地区スポーツ推進委員研修会 6名

<点検及び評価>

○村民の生涯学習の振興を図るため、各地域の実態把握に努め地域の学習活動を推進した。村や各種団体が実施する事業に協力することで、村民へ生涯学習（スポーツ）推進員の活動を浸透させることに寄与した。

○スポーツ推進委員の自主事業として、小学生を対象とした「わんぱくスポーツランド」を月1回開催し、内容はうちわバドミントン、ドッジボール、ランニングコーディネーション等を行った。今年から、スポーツ少年団に加入していない小学生を対象にしたことから、登録人数は減少したが出席率は高く、この事業の関心が高いことが伺える。

また今年、食生活改善推進員と共に、飛島版オリジナル体操「キラリとびしまのびのび体操」の創作、披露、普及、推進にあたり多くの場面で活躍をした。

② 文化振興事業

<平成27年度実績>

○村民に学習成果等の発表の場を提供することで、文化、芸能に対する資質の向上を図り、また優れた芸術・芸能を鑑賞することで知識、教養を高めた。

- ・開催日 10月31日(土)～11月1日(日)
- ・文化祭、芸能祭、菊花展、芸術鑑賞会開催 延参加者 2,914名

<点検及び評価>

○村民及び在勤者の生涯学習の総合的な発表と交流の場として農業祭・健康福祉祭と共同で開催しているが、今後とも催事参加者の分散を回避するために産業、福祉、芸術等の分野と連携を図り、村民が一丸となれる催事としていくことが求められる。

③ いきがい教育推進事業

<平成27年度実績>

○日本一の健康長寿の村づくりの中で、これからの人生を意義あるものにするための一助となるよう、村内在住の50歳、60歳、70歳を対象に「年輪のつどい」を開催した。

- ・開催日 平成28年2月28日(日)
- ・参加者/対象者：50歳：18/51名、60歳：26/59名、70歳：26/44名

<点検及び評価>

○村民の生きがいづくりと、親睦を深める場をつくるための事業として、各年代の代表により実行委員会を組織し村補助金により運営した。運営及び進行全般に関しては実行委員会で計画検討しており、親睦交流会として成果があった。ただし、参加者率が低迷していることから、今後の事業実施にあたり、事業への参加周知方法等の検討が必要と思われる。

④ 地域づくりコミュニティ推進

<平成27年度実績>

○村在住(中学校卒業で村外転出した希望者を含む)の新成人を対象として、成人式(式典、記念撮影、懇親会)を行った。

- ・開催日 平成28年1月10日(日) ※成人の日の前日の日曜日に開催
- ・対象者 53名 出席者 39名

<点検及び評価>

○式典の運営企画を新成人の代表者が中心となって実施した。小中学校在学時の恩師を交え現村在住者や就職・就学等で村を離れて暮らす成人者の親交を深める交流の場となった。今後も村の将来を託す二十歳を迎えた新成人を祝う成人式を実施する。

⑤ 社会教育施設活用促進事業

<平成27年度実績>

○「生きがい学習講座」各種教室を開催し、社会教育センターの利用促進を図った。

・パソコン講座	1回（定員各14名）	計	6名受講
・ガーデニング講座	1回（定員20名）	計	20名受講
・プリザーブドフラワーアレンジ講座	1回（定員10名）	計	8名受講
・己書講座	3回（定員20名）	計	12名受講
・料理講座	2回（定員各10名）	計	14名受講

<点検及び評価>

- 各種教室を開催し、社会教育センターの利用促進を図っている。
- 毎年、講座内容の見直しによる充実を図っているが、参加希望者が少なく開催出来ない講座があったので、教室の開催日程等の検討をする必要がある。

(2) 生涯スポーツの推進

① 各種大会開催事業

<平成27年度実績>

○村民体育祭

- ・競技種目として、地区対抗競技、一般参加競技、各種団体参加競技、アトラクション競技など22競技を実施した。
- ・実行委員会、競技等検討委員会 各2回
- ・実行委員会及び参加団体代表者会 1回

〔 開催日 10月12日（月・祝）
場 所 飛島学園運動場
参加者 2,747名 〕

○愛知万博メモリアル第10回愛知県市町村対抗駅伝競走大会

- ・愛知県内全市町村が参加する大会へ、村選手団を派遣した。
- ・村推進委員会 1回
- ・競技結果 町村の部 13位（参加16チーム）

〔 開催日 12月5日（土）
場 所 愛・地球博記念公園内、周回コース
選手団 監督以下21名 〕

<点検及び評価>

- 村民体育祭は、幼児から高齢者までの幅広い年代が参加する毎年の恒例行事として村民に定着している。村をあげてのスポーツイベントとして住民のニーズが高いと考えられる。しかし、今回は、雨天により翌日へ順延されたことにより地区対抗競技など一部競技への参加者の選抜について支障が出た地区等もあるので今後の競技等について競技等検討委員会での競技内容等のさらなる検討が必要である。
- ・平成27年度はキラリとびしまのびのび体操をスポーツ推進員、食生活改善推進員、生涯学習（スポーツ）推進員の協力によりキックオフとし多数の住民の参加により披露することが出来た。
- 駅伝大会は、愛知県内の全市町村が参加する親睦大会としての意味合いがあることから参加しているが、人口規模の小さな自治体ほど参加選手を集めるのに苦慮しているのが現状である。飛島村では、参加選手の応募が少なく、特に高校生について選考に苦慮している。今後は、以前走った方への声掛けで選手を集めていく等の対策が必要である。

② スポーツ教室開催事業

<平成27年度実績>

- 少年少女体力づくり教室（対象；小学生）
 - ・期 間 4月12日(日)～6月7日(日)（全10回）
 - ・教 室 サッカー、野球、テニス、ミニバスケットボール
 - ・参加数 18名
- トータルエクササイズ教室
 - ・期 間 5月26日(火)～9月8日(火)（前期15回）
10月6日(火)～2月9日(火)（後期15回）
 - ・定 員 前期30名・後期30名
 - ・参加数 前期20名・後期25名

<点検及び評価>

○少年少女体力づくり教室は、子どもたちがスポーツに触れる機会を設け、各スポーツの基本を教え、スポーツや運動への興味・関心を高め、スポーツ少年団への加入促進を図ることを目的に行っている。近年、少子化に加え、社会構造の変化等によりスポーツ少年団への加入率も減少している。今後はより一層魅力ある教室にして参加率向上を図っていく必要がある。

(3) 地域固有の文化の伝承と保護

① 地域民俗芸能伝承事業

<平成27年度実績>

- 元松神楽太鼓保存会、海東流古政神楽太鼓保存会、に運営費を助成する事で地域文化の振興・継承を図った。

<点検及び評価>

○民俗芸能保存団体が行う民俗芸能の伝承及び保存のための活動に要する経費及び団体の運営に要する経費を助成している。今後も伝統芸能を継承するため各種の援助を継続していく必要がある。また、休止中の伝統芸能の復活についても支援をしていく必要がある

(4) 文化施設・体育施設の管理運営

① 中央公民館管理事務事業

<平成27年度実績>

- 変圧器等改修工事
 - ・老朽化した中央公民館の変圧器を更新した。（役場庁舎と同時）
- 照明改修工事
 - ・中央公民館2階・3階部分の照明をLED化した。
- 調理実習室改修工事
 - ・老朽化した調理実習室のガスコンロの更新と各作業シンクに電気温水器を取り付けた。

<点検及び評価>

- 総合社会教育センターは、昭和57年に建設されてから30年以上経過しており、施設の老朽化が進んでいることから、施設の長寿命化に必要な調査を実施し、補修計画を作成し、順次補修工事等を行い、利用者の安全性・快適性の確保を図っていく。

② 渚コミュニティセンター運営維持管理事業

<平成27年度実績>

- 渚コミュニティセンターの管理・運営委託（指定管理）
 - ・地元の渚地区公民館運営委員会へ施設を適正かつ円滑に管理するため指定管理者委託を行った。（平成24年4月1日～平成29年3月31日まで）

<点検及び評価>

- 渚コミュニティセンターは、渚地区公民館運営委員会への指定管理者委託により渚地区の住民が会合等に利用しやすいよう運営及び維持管理を行っている。毎月2～3回ほど利用されており、地区住民には十分に利用されていると考えられる。

③ 地区公民館維持管理助成事業

<平成27年度実績>

- 地区公民館（15地区）の維持管理費及び施設整備に係る運営経費の補助

<点検及び評価>

- 地区住民の連帯感と心豊かな住みよい地域社会をつくるため地区公民館の維持管理に対する助成は必要である。また、今後も継続していく必要がある。

④ 公民館分館管理事務事業

<平成27年度実績>

- 設備機器保守点検業務委託（電気保安、消防設備、空調、浄化槽）及び夜間休日等管理、施設警備、清掃、樹木剪定等の業務委託
- ※喫茶室賃貸

<点検及び評価>

- 公民館分館は、昭和53年に建設されてから35年以上経過しており、施設の老朽化が進んでいる。また、避難所としての機能を維持するために、改修工事を行い、利用者の安全性・快適性の確保を図っていく。

⑤ 社会体育施設管理事務事業

<平成27年度実績>

- 設備機器保守点検業務委託（電気保安、消防設備、空調、浄化槽）及び夜間休日等管理、施設警備、清掃、樹木剪定等の業務委託
- 南部運動場植栽伐採工事
 - ・樹木の伐採及び剪定

<点検及び評価>

- 社会体育施設の多くは設置後年数が長いこともあり、老朽化による修繕が増加するものと考えられる。通常の運営に係る経費も含め、安全・安心に利用できる施設として管理していくとともに長期的な修繕等の計画を策定していく。
- 近隣住民の声を聞きながら、樹木管理を行った。

⑥ 温水プール維持管理事務事業

<平成27年度実績>

○利用者数

【一般】 ※教室を含む

年度	利用者数	日最高	日平均	開館日	累計
25	80,084人	1,776人	283人	271日	1,544,934人
26	83,021人	1,648人	294人	282日	1,627,955人
27	93,594人	1,654人	318人	294日	1,721,549人

- ・プール利用カード発行による無料開放（小・中学生 計1,472人）

期間：6月2日～7月17日 利用者数：886人（小学生）

7月18日～8月31日 利用者数：573人（小・中学生）

10月6日～10月30日 利用者数：13人（中学生）

【飛島学園水泳（体育）授業】

区分	回数	参加者数
小学校（着衣泳を含む）	58回	2,639人
中学校	21回	756人

○主な施設設備・工事

- ・更衣室手洗い水栓補修、ウォータースライダー滑走面補修、スライダーポンプ及び中水槽排水ポンプ取替工事を実施した。
- ・プール内諸設備の修繕及び取替を実施した。（オゾン浄化装置、吸水式冷温水発生機、シャワー及びシャワースイッチ、25m・運動用・流水・幼児・児童・着水プールスターデルタタイマー、プールクリーナー（ロボット）、打ち水・ジャグジーポンプ、MIOX装置、券売機等の修繕及び取替）

○危機管理対応訓練の実施

- ・休日の営業時を想定して、消防法に基づく避難誘導訓練を実施した。
- ・小学1年生着衣泳の実施。

<点検及び評価>

- 温水プールの利用者数は、年間を通して気象・天候に左右されることが多く、特に夏場に集中している。冬場の利用促進には困難な状況であるものの、施設を利用した事業を開催するなどの村民利用促進策を検討し、秋・冬場の利用啓発に努める必要がある。
- 施設の運営管理には多額の経費が必要となる。コスト削減に努めるとともに、安全に安心して利用できる施設として、水質保全や設備整備を図っていく。
- 飛島学園生徒の泳力強化を図るため、平成22年度から水泳（体育）授業に、各時限2名の教員免許状保持講師により専門的な指導を行っている。学園生には水泳嫌いの生徒はおらず、水泳能力の向上にも効果があった。
- 各種機器の老朽化・経年劣化による不調に対する、計画的な対応が必要。

(5) 社会教育・社会体育団体の活性化

① 社会教育団体活動費助成事業

<平成27年度実績>

○関係団体の事業活動に要する経費を補助し、村の社会教育事業の推進を図った。

【文化協会】

- ・補助金額 8,243,000 円 (加盟団体：29 団体)
- ・登録会員 331 名
- ・活動内容
 - 総会、役員会 (7 回)
 - 役員研修会の開催
 - 第 16 回文化協会春の祭典を開催 (5 月 23 日、24 日)
 - 県文連西尾張部芸能大会に参加 (11 月 29 日)
 - 会場：弥富市総合社会教育センター 出演団体：大正琴クラブ
 - 各種行事への協力 (夏まつり、村民体育祭、ふるさとフェスタ)

【婦人会活動】

- ・補助金額 74,000 円 (1 地区) ・会員数 12 名
- ・活動内容
 - 地域活動 2 回 (花いっぱい活動)、ふるさとフェスタに出展

【小学校 PTA 活動】

- ・補助金額 200,000 円

【中学校 PTA 活動】

- ・補助金額 200,000 円

- ・活動内容

家庭教育学級 6 回 (小中学校共通)

<点検及び評価>

- 各団体とも例年どおりの活動内容が中心であり、特段問題となっている事案はみあたらないが、文化協会の加盟団体である服岡獅子舞保存会は平成 21 年度より休部となっている。また、平成 21 年の常任理事会にて、会員要件を「村在住または在勤者が半数以上で構成されていること」と細則を変更したが、会員の増加は見られない。
- 西尾張部芸能大会の開催地が平成 31 年度に予定されている。(西尾張部での持ち回り、10 文化協会加盟)
- 婦人会活動は、現在 1 地区が継続して活動しているが、婦人教育の推進と地域の活性化を図るため、より一層の団体育成を図る必要がある。

② 社会体育団体活動費助成事業

<平成27年度実績>

○関係団体が行う事業及び運営に要する経費を補助し、村の社会体育事業の推進を図った。

【体育協会】

- ・補助金額 2,500,000 円
- ・登録人員 702 名
- ・活動内容

総会、役員会 7回
村体育大会の実施 7競技
役員研修会の実施
スポーツレクリエーションフェスティバルへの参加
各種大会への参加協力（夏まつり、村民体育祭、愛知駅伝等）

【スポーツ少年団】

- ・補助金額 1,850,000円
- ・団員数 144名 指導者数 49名
- ・活動内容
 - 本部役員会 4回
 - 指導者協議会 3回
 - 村長杯の実施 4競技
 - 指導者研修会の実施 1回
 - スポーツ少年団大会への参加
 - 親子清掃活動 5団体
 - 村行事への参加協力（夏まつり、体育祭等）

【スポーツクラブとびしま】

- ・補助金額 5,000,000円
- ・運営会員 12名 一般会員 274名 賛助会員 52名
- ・活動内容 総会・理事会 5回

<点検及び評価>

- 村体育協会は現在、育成クラブを含め 16 団体が加盟しているが、登録人数は近年ほぼ横ばいの傾向にある。村の生涯スポーツ推進の重要な組織である団体として住民がスポーツを自主・自立的に生涯スポーツとして行っていくために必要な組織としての支援策や、他種目の掘り起し等を検討していかなければならない。また、体育協会を始めとして創設して3年目を迎える「スポーツクラブとびしま」、及び「スポーツ少年団」、「体育協会の育成クラブ」を含め自立して活動を行う総合的な組織・体制づくりを図って行く必要がある。
- スポーツ少年団は、少子化の影響もあり年々加入者が減少している。今後は、より一層魅力ある少年団として活動をPRする必要がある。
- 「スポーツクラブとびしま」は一般会員が増加した。一般会員の約6割が村内在住者で、村内のスポーツ振興及び健康増進に貢献することができた。今後は、更に活動を充実させるためにも、組織を充実させ、他団体のニーズを共有しながら、総合型スポーツクラブの趣旨である「いつでも、だれでも、どこでも」スポーツが出来るような事業の展開が望まれる。

(6) 図書貸出機能の強化

① 図書館管理運営事業

<平成27年度実績>

○蔵書状況

年度	図書	視聴覚資料	雑誌	絵画作品	計
25	92,129冊	7,159点	4,480冊	259点	104,027点
26	89,349冊	7,358点	4,370冊	259点	101,336点
27	88,706冊	7,448点	4,396冊	259点	100,809点

○貸出状況

年度	貸出点数(一人当たり)	3月末登録者数	年間貸出点数
25	10.0(冊・点)	6,660人	66,709冊・点
26	9.4(冊・点)	7,042人	65,958冊・点
27	17.45(冊・点)	4,102人	71,594冊・点

○広報活動

- ・広報掲載(図書館コーナー)
- ・ホームページの充実
- ・図書館だより(年4回)、のびのびつうしん・きらきらつうしん(毎月)発行。
- ・職場体験者の受入(飛島学園中等部3名)
- ・社会体験研修の受入(あま市立伊福小学校教諭1名)

○主な施設設備・工事

- ・視聴覚コーナー椅子の交換。

<点検及び評価>

- あなたの「もっと知りたいをかなえてくれる図書館」を目標とし、次に掲げる項目に配慮した図書館運営を行った。
 - ・新しい本を少しでも早く提供する。
 - ・だれでも気軽に利用できる身近な図書館に。
 - ・親切な対応で親しめる空間づくり。
- 図書館員の知識向上のため、レファレンスサービスを始め各種セミナーや研修会に積極的に参加する。

② 図書館整備事業

<平成27年度実績>

- 郷土資料の収集や企業で働く会社員のビジネス支援のための資料など、図書資料の充実を図るとともに、図書資料の除籍(一部分)を実施した。
- 新刊書誌情報をスムーズに入力できるよう、資料マークの入力委託を行った。
- 前年度と同様、25年度利用の雑誌無償配布を行った。

<点検及び評価>

- 資料の充実を図るため、効率的な除籍の検討をする。

(7) 図書館利用者サービスの充実

① 図書館活動推進事業

<平成27年度実績>

- 読み聞かせボランティア育成のための教室開催（5回）
- 人形劇公演の委託（1回）

<点検及び評価>

- ブックスタートとして、親子絵本講座・読み聞かせ講座を開催した。
- ブックスタートを年6回実施。(保健センターの乳幼児検診時3・4ヶ月の赤ちゃんと親を対象)絵本を介して「親子でゆったりとしたひとときを」とメッセージを伝え絵本や図書館でおすすめの赤ちゃん絵本リストなどを手渡して実施した。
- 年4回図書館だより(季刊誌)・毎月、きらきら・のびのびつうしんを発行した。
- 毎月、ボランティア3団体による「おはなしぷくぷく」・「コアラのおはなし」・「としょかんおじさんのおはなし」を実施した。
- ボランティア育成のための講座を実施した。
- 親子で人形劇を楽しむ機会をつくり、ふれあいを深めるために年1回人形劇公演を実施した。

3 国際社会

(1) 国際交流の推進

① 中学生海外派遣事業

<平成27年度実績>

○中学生に外国の文化や生活様式を体験させることで、国際感覚を養うことを目的にアメリカ合衆国への派遣事業を行った。アメリカ合衆国の広大さ、強大さ、豊かさ等を実感させるとともに、生徒に「日本の中学生の代表」という誇りと責任を持たせ、親や村民の期待に応えるべく真剣に努力する意欲をもたせた。姉妹都市との交流を通じて国際的な友好関係を築き、相互協力の意識をもたせた。

- ・推進本部会で基本計画（案）を作成し推進委員会において承認した。
- ・村内在住の中学2年生を対象に参加者を募集し、応募審査会で応募者に対する面接を実施し合格者を決定した。

〔 団 員：34名、引率者：6名
派遣先：アメリカ合衆国カリフォルニア州リオビスタ市ほか
期 間：8月19日(水)～25日(火)7日間 ※報告書：200冊作成 〕

<点検及び評価>

- 国際化が進展する現代社会で各分野に適応するための行動力や責任感を体験させることができた。また郷土を愛する心を育み個々の生徒の資質を伸ばす基盤となった。
- 海外派遣報告会を通して、飛島学園生徒、保護者、村民へ派遣事業の成果を報告することができた。

② 国際交流事業

<平成27年度実績>

- リオビスタ市交流団受入（中学生11名・引率者2名）：6/11～15
ホストファミリー説明会を開催し体験者の話を紹介、文化展の会場に紹介ブースを設けてPRを行った。

<点検及び評価>

- リオビスタ市より中学生11名、引率者2名を受け入れ、学園の生徒やホストファミリーとの交流を行い、国際的な視野を持つ人間の育成を行うことができた。
- ホストファミリーのなり手が少なく、村民の理解が高まっているとはいえないう状況であるので、今後さまざまな場所で本事業をPRしていく必要があると考えられる。

【「飛島村教育委員会に関する点検と評価」意見聴取会のまとめ】

平成28年6月22日実施

1 各項目についての意見

(1) I 飛島村教育指針～III 教育に関する事務の点検評価について

ア 「I 飛島村の教育指針」について

- ここに記載してある「飛島らしさ」、「確かな未来」、「将来の飛島村の担い手」について、教育委員会・教育関係者は当然共通理解が図られていると思うが、それをわかる形にして外向けに発信して欲しいと思う。

イ 「II 施策の基本指針 2 (3) 地域固有の文化の伝承と保護」について

- どこの地域でも「伝統芸能」「昔ながらの生活の伝承」の重要性は叫ばれている。この先「伝統芸能」「昔ながらの生活の伝承」だけで若い人がついてくるとは思えない。若い人を巻き込むための積極的な取り組みが必要である。例えば、伝統とか継承の上に、新しい発想・創造等新しい要素を加味して欲しい。

ウ 「II 施策の基本指針 3 国際社会」について

- 「飛島村民憲章」には本当にどれも大事なことばかり書いてあり、未来永劫誰もが目標にすべき、心すべきことであると思う。しかし、国際社会に立ち向かっていく「グローバルな視点から郷土を考えられる人材を育成する」ことを考えると、この「飛島村民憲章」の中に国際的視野から考えた新しい項目の追加が必要であると思う。時代にに応じて変えていく、柔軟さも必要である。

(2) IV 教育委員会の取り組みについて

ア 「2 教育委員会会議の審議状況」について

- 不審者情報について

最近、不審者だけでなく認知症の行方不明者も防災無線で発信している自治体がある。飛島でも検討して欲しい。

- 学校規模適正化について

他市町村では小学校の統廃合や学区編成を見直して大規模校や小規模校の解消に向けて話し合いを進めている。飛島村は小中一貫教育を行うという付加価値を付けて統合した。よいアイデアであった。全国的にも先進的な取り組みをしている。ただ、それでも人数は少ない。どこか大規模校と文化・芸術面等で交流を考えてもよい。個別指導は行き届くが、切磋琢磨が確かに少ない。

(3) V 主な事業の取り組み状況について

ア 「1 学校教育・青少年健全育成」について

・ 「(1) 小中一貫教育の充実」について

学力にはいろいろな要素がある。一概に数字での比較は難しい。学園の教育活動を通して、縦の人間関係の中で思いやりが深まったとか、多くの先生とのかかわりの中で学ぶ意欲が高まったなどという、学習状況は間違いなくよいはずである。今後、学力が伸びる要素はとても高い。そんな点もぜひ発信して欲しい。

また、学力をつけることはとても重要である。中学校の先生は、入試が先にあるので、生徒の成績に目が行きがちである。しかし、不登校やいじめが少ないとか問題行動が少ないということは本当に自慢できることである。学校教育には学力だけでなく、生活指導・人間関係など、いろいろな要素がある。飛島の小中一貫は不登校・生徒指導面で効果があるというメリット点を強調してもよいのではないか。数値として表れにくいところであるかもしれないが、そこを工夫すべきである。

・ 「(1) 小中一貫教育の充実」について

小中一貫のメリットは教科担任制ができることにあると思う。中学校の先生が小学校を指導している。専門の先生が教科の本質を踏まえて指導していることにメリットがある。

イ 「2 生涯学習・スポーツ・文化」について

・ 「(1) ③生きがい教育推進活動」について

参加者を見ると50才の参加が少ない。参加率が低迷している年代があるということで、周知方法の検討が行われていると聞く。招へいする講師の検討を進めて欲しい。仕事をするは大変なことであるけど楽しいんだよ等と、笑いとともに人生へのエールを送ってくれる芸人などを呼んでほしい。人を集めるというのはそういう工夫も必要かと思う。

・ 「(1) ⑤社会教育施設活用促進事業」について

「己書講座」という言葉は初めて聞いた。とてもおもしろい取り組みである。講座開設して参加者を募集しても人員が集まらない講座があると聞く。事前の調査によって定員が集まりそうな講座を開設して欲しい。

・ 「(2) ① 各種大会開催事業 村民体育祭」について

村民体育祭に多くの人が集まっているということを知り、驚いている。村内の横のつながりや絆を保つためにも、今後も多くの人が集まる工夫が望まれる。熱中症予防で、村からテントをすべて準備しているのも、素晴らしい。

・ 「(3) ①地域民俗芸能伝承事業」について

伝統ある服岡獅子舞保存会が休部となっているのを聞き、残念に思う。村外に会員枠を広げているとも聞く。クローバーテレビとかマスコミ関係を利用しながら、地域や全国に発信する働きかけをおこなってはどうか。テレビに放映されるというのは、よい動機付けになると思う。今年開催される国民文化祭をきっかけに呼びかけて欲しい。

・ 「(4) ⑥温水プール維持管理事務事業」について

自分の住んでいる自治体はプールの修繕ができず、近隣の学校のプールを開放しようかという動きがあるもののなかなか進まない。飛島村がうらやましい限りである。

温水プールの秋・冬場の利用啓発とあるが、昨年、「秋冬場は水中ドッジボールとか水中ハンドボールとか水中鬼ごっことか子供が集まってきやすく楽しい企画があるとよい」と提言したが、その後実行したか。プールを秋冬に使用することだけでも素晴らしいが、ぜひたくさんの方が利用できるように取り組んでほしい。

小中学生の授業を、温水プールを利用して行っているのはとてもよい。生徒にとって寒くないということが、とても良い。寒くて震えている子がいないという環境で生徒が学べるのは素晴らしい。また、総合型地域スポーツクラブの水泳指導員に、小学生が指導してもらっている。生涯教育と連携されていてとてもよい。学校の先生にとっても非常にありがたい。

・ 「(5) ①社会教育団体活動費助成事業」について

家庭教育学級への助成を行っている。親の家庭教育力の育成は村の発展のために大切である。飛島村は3世代同居が多く、さほど問題はないかもしれないが、保護者は子育てに悩んでいるケースが多い。若い保護者が家庭教育を勉強する機会を与えることは大切である。親学・親としての学びとして、家庭教育支援条例を指定している自治体がある。親の学びを自治体が支援している。ぜひやってほしい。家庭はプライベートの範囲だから行政が支援していない場合が多い。自分としては「家庭教育法」という法律を作って、親になったら数十時間講習を受けるという制度を作ったらどうかとも思っている。「親」としての学びの場を提供することはぜひ力を入れてほしい。

・ 「(6) ①図書館管理運営事業」について、

手軽にスマートフォン等のIT機器で調べることができる時代に、図書館利用者が増えているのは図書館運営にいろいろな角度から分析検討していただいている賜物であると思う。図書だけでなく、視聴覚資料の蔵書が増えている。今後も利用者のニーズに合わせた充実を図ってほしい。

い。

飛島学園のメディアセンターもとても充実していて素晴らしい環境にある。ぜひ連携をさらに進めて欲しい。

・ 「(6) ②図書館整備事業」について

郷土資料の収集について、どこの自治体も地域の貴重な資料の収集は大事な仕事である。収集のためのPRや啓発活動を続け、古文書だけでなく写真や視聴覚資料を集め保存し、活用してほしい。

・ その他 高齢者の生きがいの場作りについて

高齢者の生きがいの場を作るためにも、図書館ボランティアの登録や連絡協議会がありますか。ぜひ進めてほしいと思う。村のために活躍の場を探している高齢者が多くいる。自分の住んでいる自治体も、手品・音楽・手話・読み聞かせ・絵手紙・昔遊び・歴史の語り部等、登録している方がいる。自分の勤めている児童館にも「読み聞かせがしたい」と言ってくる人が来て、感謝している。登録・活動ができる場所の設置をお願いしたい。

ウ 「3 国際社会」について

・ 「(1) ①中学生海外派遣事業」について

グローバル社会の中、海外に行き日本と違う生活や文化を体験するということは、未来を生きる村民の人材育成のためにとっても有意義である。しかし、ただ海外へ行くだけではいけない。海外派遣先で飛島のよいところ・飛島の文化や生活様式などを紹介するなど、発信してきてほしい。外国の良さを理解し、こちらの良さを発信するよい機会であると思う。そうすることによって、さらに飛島村について理解を深め、郷土を愛する気持ちが醸成されると思う。

2 教育委員会に関する点検及び評価報告書の点検評価委員

(意見を聴取したもの2名)

- ・ 伊藤孝照 元名古屋芸術大学 人間発達学部 講師
- ・ 伊藤勝康 元名古屋女子大 文学部 講師